

## 帰国生入試「英語＋算数試験」導入について

サレジオ学院中学校・高等学校

校長 鳥越 政晴

本校では2023年度入試より帰国生入試を開始し、海外での経験を活かしながらその長所を伸ばし、周囲の生徒にも良い刺激を与えてくれる生徒を広く募集してまいりました。今後さらに幅広い経験を持つ生徒を迎え入れるため、2027年度入試より新たに「英語＋算数試験」を導入することを決定いたしました。帰国生入試の正式な募集要項は、一般入試と同様に2026年7月に発表いたしますが、ここに概要をお知らせいたします。

### 【1】帰国生入試

2027年1月上旬に実施予定です。出願条件および募集人数は昨年度と同様になります。入試方式のみ、出願時に以下の2つの方式から1つを選択していただく形に変更いたします。

- ① 国語（50分/100点）＋算数（50分/100点）＋作文（30分/参考資料として扱います）
- ② 英語（50分/100点）＋算数（50分/100点）＋面接（合否判定資料として扱います）

※算数は共通問題です。

英語試験は本校独自問題となり、語彙力・読解力・表現力を総合的に測る問題になります。（リスニング問題は含みません）難易度としては、CEFR B1～B2（実用英語技能検定2級～準1級相当）の内容を予定しています。また、「英語＋算数試験」の受験者には、英語及び日本語でのリスニング・スピーキング能力を測る面接試験も実施します。

英語のサンプル問題は、昨年度入試過去問とともに7月18日（土）実施の「帰国生入試説明会」で配布いたします。後日、映像配信をご覧になる方にも同じ資料をPDFでお渡しします。

### 【2】取り出し授業（英語）

帰国生入試「英語＋算数試験」の合格者は、英語力を維持・発展させることを目的として中学1年から高校1年まで週2コマのAll Englishでの取り出し授業を予定しています。取り出し授業の内容やレベルは入学者の英語力を踏まえて設定します。入学後の学習状況によっては、一般生徒と同じ授業に合流する場合がございます。また、同等の英語力を持つ一般生徒が取り出し授業に参加する可能性もありますので、あらかじめご了承ください。なお、英語の取り出し授業を除く他の授業、ホームルーム、学校行事などはすべて他の生徒と同じになります。

以上